

2020年度 いちいの杜 施設目標

スローガン ”介護老人保健施設の理念にのっとり、

利用者の在宅療養を担う役割を果たす”

- 1 他職種の専門性を生かし、利用者支援を行う
- 2 施設内の連携を図り、良好なコミュニケーションを取る
- 3 在宅療養充実のためにデイケアの出席率を上げる
- 4 R-4 システムを活用して業務の効率化を高める
- 5 人材育成に全職員が協力する

巻頭言

理事長 金光 弘

今年度は年初来、コロナ渦に遭遇しすべての業務が滞ってしまいました。
療養者の面会も長期に渡って規制された為、家族からの不満の声が頂点に達している。
こんな状況でも、日々の介護業務の停滞は許されず日々、粛々とその日のノルマを消化するだけになってしまっている。
こんな中で今年度はいちいの杜にとって重要な節目の年を迎えていたのである。
数年前から療養病棟の業務改革が行われ、徐々にその形が出来つつあり、良い効果がみられる様になって来た。
それに加え日々の業務をより円滑に進めていくため施設長を交代してもらった(*詳細は別紙にて)
新施設長は今まで大病院で地域連携室看護師長として長く携わり、いちいの杜とも親しい関係にあった人である。
今日、いちいの杜が在宅復帰型老健へ移行出来たのも新施設長の協力がなければ出来なかった事である。
今後、2025年に向けてより一層の飛躍をしていく為に実を的を得た人材である。
新施設長の下で更なる発展をし在宅復帰を目指した高齢者介護に特化した超在宅強化型老健として今後ともその役割を担っていくつもりである。引き続きご指導ご鞭撻を頂ければ幸いです。

いちいの杜のコロナ対策

副理事長 浜田 篤

令和2年7月16日の時点で東京都の1日あたりのコロナ新規陽性者性数が286人/日と急増しており、東京都を中心としたコロナウイルスの感染が拡大している一方で、その内容は以前と異なり、20代、30代が大半を占め、無症候性または軽症のケースが大部分となっているようです。

しかし、「基礎疾患のある人・高齢者が感染すると重症化しやすい」という事実は、コロナウイルス流行当初より言われていることです。そして、いちいの杜の利用者はほぼ全員「基礎疾患を持った高齢者」で、特に入所利用者はその生活環境自体が「3密」の状態になり易いと言えますが、万が一、コロナウイルスが入所利用者に感染した場合は、瞬く間にそのフロア全体に感染が広がりクラスター化し、重症者が続出することになります。

そのため、現時点で我々ができる対策の基本骨子は、「入所フロアへのコロナウイルスの侵入を阻止する」であり、それに付随して職員や他の利用者の感染確立を可能な限り減らす対策を実行していくことが基本になります。現状を見据えながら、できることを確実に実行して、成果を積み重ねていきたいと思っておりますので、皆様のご理解とご協力を頂きますよう、何卒、宜しくお願い致します。



子持ち山での自粛生活

理事 飯塚 和子

新型、コロナウイルスの感染症で「行動自粛」の指示があり、4月3日から Stay Home、テレワークになった。私は、群馬の渋川から3時間の時間を要するため感染リスクの高い存在という事になる。どうあっても、ウイルスをいちいの杜に入れない為に、承服せざるを得ない。

自宅は、子持ち山の中腹にあり、村の人達は、感染を恐れて行き来は少なくなってきた。ウォーキングをする人達も立ち止まってマスクを取り出して話をする。”エチケットだから”
”迷惑をかけないため”だと言う。こんな時期ではあるが私には良いこともある。それは”Stay Home”での自宅の庭の70本余りのバラの育成を始めてから、一番花が咲き終わるまで、しっかり世話が出来たことである。害虫や黒点病の予防や草取り、剪定で2番花も元気に咲いていてくれる。

私は、勤務をしているので近所付き合いは多くはないが”薔薇友”が多く薔薇苗の交換や薔薇の情報交換でたいへん楽しい。近所の人達は、採りたての夏野菜を早期声をかけずに我家の入口に置いて行ってくれる。いつ収束できるのか先が見えない時代ではあるが、いちいの杜に、そして村の人達に迷惑のかからないよう”自粛”を心がけていくつもりである。



みなさん、はじめまして、今年2月よりいちいの杜の施設長に就任いたしました樋口早智子と申します。どうぞよろしくお願い致します。福祉の現場は初めてであり、さらに施設長という大役が務まるのか大変不安ではございますがどうぞ宜しくお願い致します。

少し自己紹介をさせていただきます。私は山形県山形市の出身で、看護学校入学を機に上京し約40年が経過しました。看護学校卒業後は、国立村山療養所村山病院（現 国立病院機構 村山医療センター）で看護の基礎、技術を学び、さらに「患者自立への援助」を多職種と共に構築してきました。その後、看護師長として千葉県内の国立病院で勤務し、平成16年4月に国立病院機構災害医療センターへ異動となり外来・病棟・医療連携室の看護師長として業務を行ってまいりました。平成30年4月からは地域の急性期病院の看護部長として看護部として看護部のネジメント病院の運営に携わりました。30年以上この地域の病院で勤務してまいりましたが、病院でも患者様の高齢化は進んでおり、在宅療養も含め課題が山積しておりました。



私が「いちいの杜を」を知るきっかけとなりましたのが、10年程前に退院支援研修で「いちいの杜」で見学実習をさせて頂いたことからです。飯塚理事はじめ介護、看護の部長がプライドを持って業務にあたっていること、他職種が連携して利用者様のケアを行っていることを現場で説明していただきました。金光理事長・浜田施設長（現副理事長）を中心としたチーム医療・介護が行われていることに感銘を受け、急性期の病院では出来ないケア・キュアが「いちいの杜」にはあると思いました。

いちいの杜では Sometimes cure, always comfortable（薬や注射はちょっとで心のこもった介護を）を目指し実践しています。職員約 100名と共に、「いちいの杜」が目指す、超在宅強化型老人保健施設を更に充実していけるよう力を尽くしたいと思います。また、利用者の皆様、ご家族の皆様にも安心して利用していただける施設として発展させてまいりたいと思いますので、お気軽にお声かけ下さいますようお願いいたします。

今年度のいちい杜目標を掲げました。スローガンは「介護老人保健施設の理念にのっとり、利用者の在宅復帰を担う役割を果たす。」です。具体的な目標は以下の5つとしました。

- 1.多職種の専門性を活かし、利用者支援を行う。
- 2.施設内の連携を図り、良好なコミュニケーションを取る。
- 3.在宅療養充実のためにデイケアの出席率を上げる。
- 4.R-4 システムを活用して業務の効率化を高める。
- 5.人材育成に全職員が協力する。

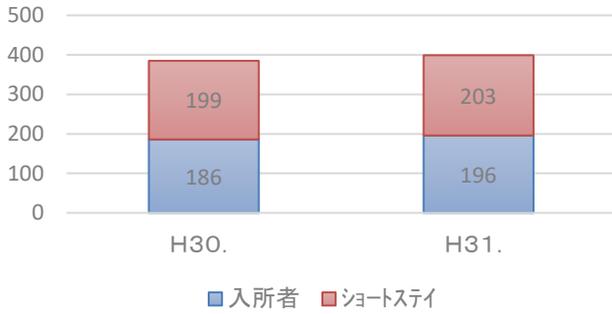
これらの目標を達成出来るよう職員みんな力を合わせていきたいと思っております。

新型コロナウイルス感染症がまだまだ収束しない状況ですが、「いちいにコロナを入れない」を合言葉に全職員が責任ある行動をとっており、現在に至っております。面会制限等ご利用者様ご家族の皆様にはご不便をおかけしておりますがご協力のほど宜しくお願い致します。

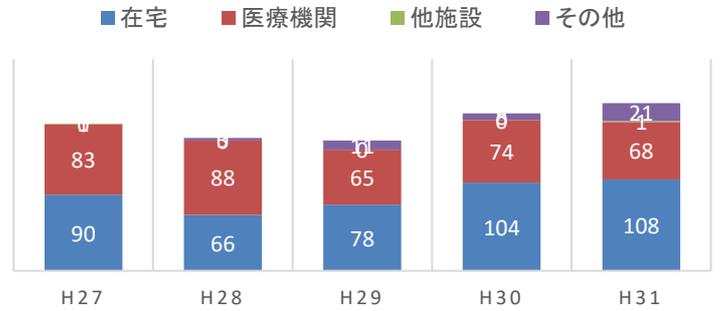
令和1年度実績報

平成31年4月～令和2年3月 実績報告

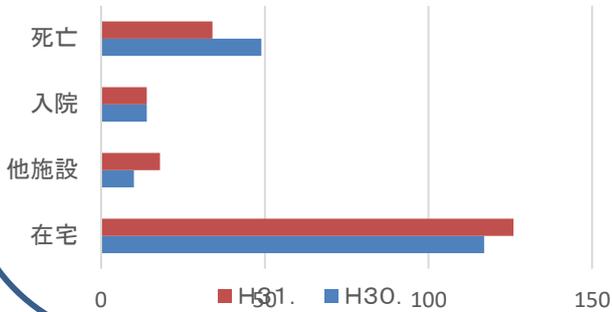
入所者 受け入れ総数



入所者 内訳



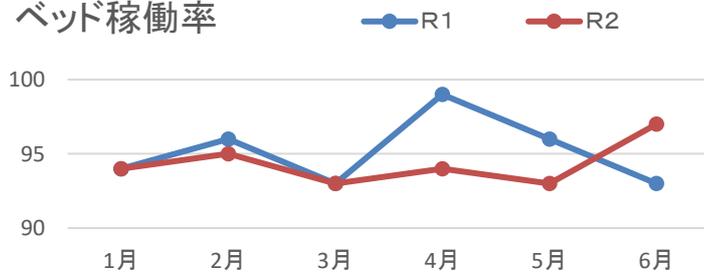
退所者内訳



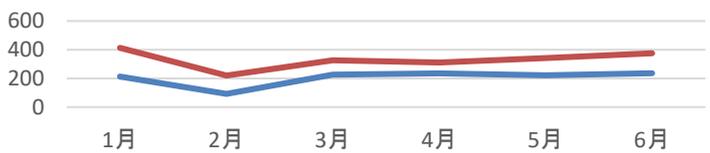
要介護度別 構成比



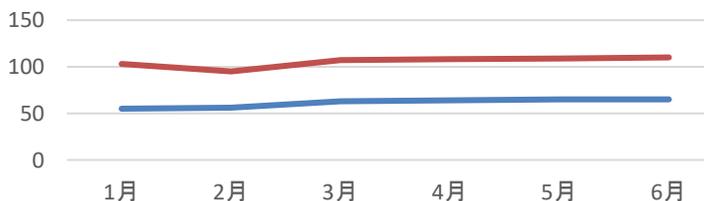
ベッド稼働率



ショートステイ



ディケア



前年度の実績を報告いたします。年間399名の入所受け入れがあり、95.7%の稼働率でした。前年度より0.2%増となりました。特徴としては、以前は医療機関からの入所が6割を占めていましたが、平成30年度から、在宅からの入所者が大きく増加しています。これは、排泄援助を例に出しても、時間をかけて自身の残存能力を使いながら、トイレの度に生活リハビリを行っている、リハビリの時間だけでなく、生活の中でもリハビリができていることが本人のレベルアップにつながり、在宅復帰ができていると考えています。

また、コロナでの緊急事態宣言後、入所は大きく変わりがないものの、ショートステイやディケアの実績が大きく減少しています。これは、当施設だけではなく全国的に同じ状況が起こっており、そのため臨時的に介護報酬の算定基準が変更可能となりました。今後、書面等でご説明させていただく予定です。

相談部 白田 悦子

いちいの杜の新型コロナウイルス感染症対応について

いちいの杜の新型コロナウイルス感染症対策は、令和2年2月24日に厚生労働省から、通知が発出され緊急対応継続して行っております。

- (1) 施設職員は（施設で勤務する全ての職員及びボランティア等も含む）に関して
 - ① 出勤前に自宅で体温を計測し管理者に報告する。
 - ② 職場に到着したら再度検温しチェック表に体温を記載する。
 - ・ 37.5度以上の発熱や呼吸器症状（のどの痛み、咳など）がある場合は出勤を停止
 - ・ 解熱後 24時間以上が経過し、呼吸器症状が改善傾向となるまで
- (2) 利用者に関して
 - ① 入所前に検温し、37.5度以上の発熱がない事、呼吸器症状がない事を確認する。
 - ② 37.5度以上の発熱や呼吸器症状がある場合は、速やかに適切な診療、加療を行う。
 - ③ 通所サービス・訪問リハビリテーション利用者の場合も発熱や呼吸器症状がある場合は利用をお断りし
- (3) 家族等の面会について
 - ① 基本的には全面禁止とする。洗濯物は職員が玄関ホールで受け渡しする。
 - ② 看取り等、緊急やお得ない場合は、検温を行ったうえで許可する。

以上の他に、職員のマスクの着用、うがい、手洗い、咳エチケット、アルコール消毒等の徹底し感染予防に努めると、健康管理に留意していただいています。さらに3密（密閉、密集、密接を避ける、外出自粛に心がけ「コロナの杜に入れない」を合言葉に職員一同努力しております。ご利用者の皆様には大変ご迷惑、ご不便をおかけしておりますが、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

◇ 行 事 報 告 ◇

6月 梅ジュース作り



6月 吉日。梅の実のへたを串で取り除き、瓶につめて梅ジュースを作っています。美味しいジャムも出来ました！

7月 七夕会



7月 吉日 コロナ渦の中で利用者様行事です。例年ですと近隣の小学生との交流会になるのですが、今年は感染症予防の観点から中止としました。

百寿祭のお知らせ

令和2年9月10日(木)
14:00~15:00

・みなさまが楽しい時間を過ごせるよう、職員一同準備を進めています。



◇お神輿(宮出し)

◇祝い年の方表彰・他



新入職員紹介

看護部

- ・ 西澤 恵実 3月23日入職
- ・ 萩尾 弘美 4月1日入職

介護部

- ・ 佐藤 彪吾 2月1日入職
- ・ 坂元 勇太 3月23日入職
- ・ 指田 一樹 4月1日入職
- ・ 岡本 民子 5月11日入職

新たに以上の職員が仲間に加わりました。どうぞよろしくお願いいたします。

医療法人社団弘樹会

介護老人保健施設 いちいの杜

住所 東京都昭島市武蔵野3-5-63
TEL/FAX 042-500-0151/042-500-1533
ホームページ <http://www.kanemitsu-c.or.jp/>